

平成28年度 西紋地区ホタテガイ採苗情報 (No.3)

平成28年5月12日
網走西部地区水産技術普及指導所

5月9～11日に雄武・沙留・紋別地区でホタテガイ浮遊幼生調査を行ったので、結果をお知らせします。

- 調査地区全体で、130～230 μm の浮遊幼生が出現しました。主体となったのは200 μm 未満の個体でした。
- 幼生の出現数は、全体的に少ない状況でした。

○浮遊幼生調査(図1)

- 各地区で130～230 μm の浮遊幼生が、0.4～2.1個体/ m^3 出現しました。
- その他二枚貝は5.7～31.8個体/ m^3 出現しました。

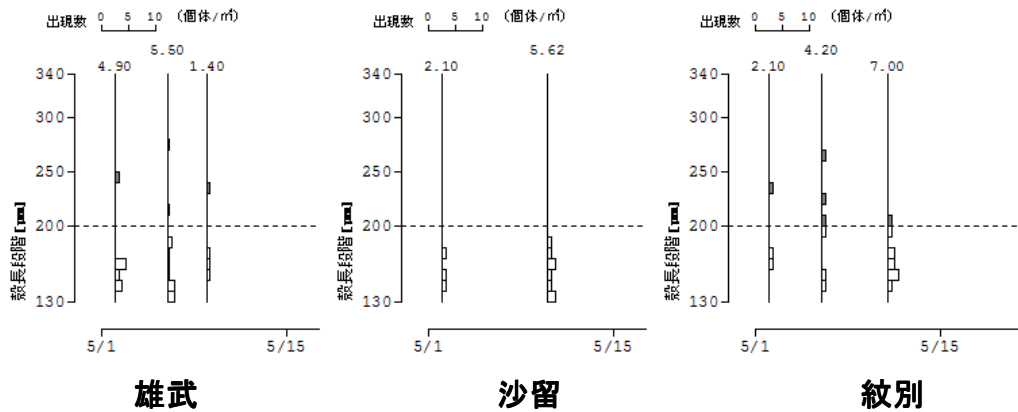


図1 浮遊幼生殻長組成の出現状況

○水温・塩分の鉛直分布(表1)

- 調査点の水温は5.0～6.5 $^{\circ}\text{C}$ でした。各地区とも前回より水温がやや低い状況でした。

表1 観測結果

調査日	雄武		沙留		紋別	
	5月9日		5月10日		5月11日	
水深(m)	水温 $^{\circ}\text{C}$	塩分psu	水温 $^{\circ}\text{C}$	塩分psu	水温 $^{\circ}\text{C}$	塩分psu
0	6.5	32.02	5.5	32.40	5.5	33.19
5	6.1	33.52	5.0	32.81	5.4	33.41
10	6.0	33.52	5.3	32.93	5.4	33.42
15	6.0	33.52	6.1	32.96	5.4	33.41
20	6.0	33.52	5.5	33.21		

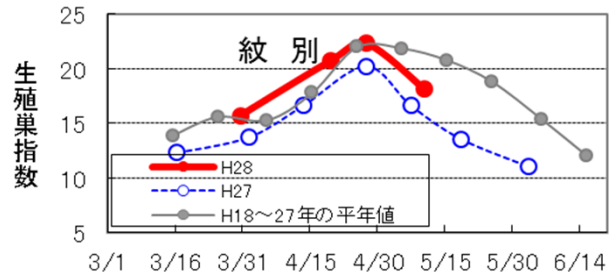


図2 生殖巣指数の推移

○成熟度調査(図2)

- 5/10の紋別沖定点調査で、生殖巣指数の低下が確認されました。

○他地区の採苗状況

- 枝幸地区では5月10日の調査で、140～210 μm を主体に10.6個体/ m^3 の浮遊幼生が出現しました。〔水温:6.9 $^{\circ}\text{C}$ (-10m)〕
- 日本海各地区では、すでに採苗器の投入指示が出されています。後志南部地区(4/28～5/2)、後志地区(5/2)、留萌南部地区(5/5～)